

四国医療工学専門学校

学校新聞 12月号 学校の行事や魅力を毎月お届けします！

頑張る学生紹介	1
姉妹校との連携授業	2
歯科医療事務管理士技能認定試験	2
臨床工学技士模擬試験	2
診療報酬請求事務能力認定試験	3
医療体験出張講座	3
オープンキャンパス開催	3

NICE

頑張る学生をご紹介します！

矢野 和弥さん

臨床工学学科 3年
高知県立高知南高等学校 出身



第2回目である今回は、臨床工学学科3年生の矢野 和弥さんにインタビューをしました。矢野さんは今年度の臨床工学学科3年生の就職内定第1号で、高知医療センターに就職が決定しています。

そんな頑張る矢野さんに、いくつかの質問をしてみました！

Q & A

Q1 臨床工学技士を志したきっかけは？

小さい頃、医療系のドラマを母親と見ていて医療に興味を持ちました。そして高校の職業学習で体育の先生と付き合いのあった臨床工学技士が話をしてくれて臨床工学技士に興味を持ちました。また、機械いじりが好きなことも臨床工学技士を志すきっかけになったと思います。

Q2 本校に進学を決めた理由は？

家から近かったこと。あとはやはり13年連続国家試験全員合格という実績があるこの学校でなら臨床工学技士になれるという安心感が大きかったと思います。

Q3 今、学んでいることは？

国家試験合格のための内容を中心に学んでいます。また、先生が医療現場で勤務していた時、人工心肺装置を使って病気が治った患者様に臨床工学技士として関わっていた話を聞いたことで将来へのやりがいを感じています。

Q4 学校生活について

仲の良い友人と一緒にいて楽しいです。特に友人と一緒に勉強できることが楽しく、昼休みにはご飯を食べたり、話したりもしています。

Q5 本校と他校の違いは？

礼儀や節度を学べるところが他校との違いだと思います。私の学年全員が、きちんと挨拶できるような鍛えられています。こうした習慣はどんなところに行っても活かされると思います。

Q6 本校のいいところは？

国家試験のデータや採点結果などの情報がよくまとめられていることがいいところだと思います。また、学生ホールに自動販売機があったり、学内Wi-fiが完備されていたり、設備が充実しているところです。さらに実習で使う医療機器が豊富にあることもいいところです。

Q7 臨床実習での学びは？

臨床工学技士が現場で何をしているのかをしっかりと見て、イメージを掴むことができたので、それが大きな収穫でした。

Q8 なぜ高知医療センターに就職しようと思った理由は？

幅広い業務に携われること、とりわけ人工心肺装置を扱っている病院に就職したいと思っていました。そしてせっかく臨床工学技士になるのであれば、いろんな業務を行えるところで働きたいと考え、志望しました。

Q9 ライバルはどんな存在？

尊敬する人物でもあるし、私の勉強のモチベーションにもなっています。テストが終わったら一緒に答え合わせをしてお互い答えが合っていた時は喜びを分かち合っています。一緒に勉強した友人たちの成績が上がった時はとても嬉しいです。皆でライバル意識を持つことがモチベーションになります。

Q10 これからの目標は？

まずは念には念を入れて3月の臨床工学技士国家試験に合格することが目標です。人工心肺装置を扱う病院に内定をいただいているので、そちらで経験を積み体外循環認定士の資格を取得したいです。そのために全国统一模擬試験でもいい成績を取り全国順位を上げたいと思っています。

Q11 今強く思うことは？

学年全員で国家試験に合格して卒業したいです。試験の点数が良かった人がまた違う人を教えるといういい流れに持っていきます。皆、目標地点は同じ。頑張っていきたいです。

(記者：赤嶺)

11/24

医療情報学科

臨床工学学科

姉妹校との学校間連携授業

11月24日、姉妹校である高知福祉専門学校にて、医療情報学科、臨床工学学科の両学科1年生を対象に学校間連携授業を行いました。

この授業は、医療を学ぶ学生として基礎的な介護技術の習得を目的として実施したものです。学生たちは、高知福祉専門学校介護福祉学科学科長中岡先生から、ベッドメイキング、ボディメカニクス、車いすを使った移乗介助について、講義と実技を交えた指導を受けました。ボディメカニクスとは、介護する側の身体負担を軽減し、介護される側が安心・安全な介護を受けられるよう、力学的原理を活用する技術のことです。

授業を受けた学生からは、「シーツ交換がきれいに出来たら感動!」「楽しかったけど難しかった」といった声が聞かれ、介護福祉分野の授業を受けたことで普段と違った学びがあった様子でした。指導した中岡学科長は「介護や医療で自分の身体を痛めてほしくない。自分が楽だったら相手も楽ということ意識しておいてほしい」と、学生に声を掛けていました。

今後もこのような姉妹校が連携した授業や、学生たちが将来に活かせる取り組みを行っていきます。(記者：赤嶺)

授業で身に付けた
技術は将来必ず
役に立つ!



11/25

医療情報学科

歯科医療事務の検定を受験

11月25日、医療情報学科2年生が歯科医療事務管理士技能認定試験を受験しました。この試験は技能認定振興協会（JSMA）が実施するものです。

歯科医療事務の業務は主に受付対応やレセプト作成、会計、カルテ管理などがあります。また、患者様への接遇力だけでなく正確に診療報酬を算定できる力を持ったスタッフは歯科医院で欠かせない存在です。これらの事務スタッフとしての知識とスキルを証明するのが歯科医療事務管理士の資格です。

受験した学生は、自分の実力を試すために受験したとのことで、試験の手応えを聞くと「問題を解いていくうちに慣れてきて正解できるようになっていった。勉強方法は、歯科保険請求事務の授業で行った内容を復習したり、レセプトの実技問題を解いたりしました」とのこと。2年生から始まった授業をベースに勉強した様子でした。これからの抱負として「今まで学んできたことを復習し、自分のできていないことを把握することで、良い方向に伸ばしていけるようにしたい」と語ってくれました。(記者：赤嶺)

11/25

臨床工学学科

臨床工学技士模擬試験を受験

11月25日、臨床工学学科3年生が第1回全国统一模擬試験を受験しました。

この試験は日本臨床工学技士教育施設協議会が実施しており、年3回行われています。試験問題は全国の臨床工学技士養成校の教員が意見を出し合い作成しています。その出題形式は午前・午後ともに2時間30分で90問ずつマークシートに解答する方式であり、国家試験と同じ条件で受験することができます。

今回受験した学生に話を聞いてみると「過去問と似た問題があっよかった」と日頃の勉強の成果を発揮できた様子でした。また、「基礎医学や医学概論など、範囲が広いところを重点的に勉強して苦手を克服していきたい」「日頃から最新の医療に興味を持っておくことが大事だと感じた」「機械工学系をもっと勉強したい」など、自分の苦手分野の発見や今後活かせる気づきもあったようでした。

国家試験まで11月25日で残り100日となりました。模擬試験での気づきを活かして、これからの勉強に励んでほしいと思います。また、勉強した内容を復習することで記憶は定着するので、復習にも積極的に取り組んでもらいたいです。(記者：赤嶺)



12/11

医療情報学科

医療事務最難関の検定に挑戦

12月11日、香川県高松市にあるレクザムホールで医療情報学科1年生が診療報酬請求事務能力認定試験を受験しました。

この試験は、日本医療保険事務協会が実施する全国一斉の試験で、年2回行われます。医療事務の業務の中でも『レセプト（診療報酬明細書）』作成のための専門的な知識や技術があるかどうか判断される試験で、医療事務にとってレセプト作成は、最も重要な業務といっても過言ではありません。試験に合格をすれば、レセプト作成の専門的なスキルがあるという証明となり、このことは大きなアピール材料になるため、医療事務として働くことを目指す多くの人が受験をしています。日本医療保険事務協会のホームページによると、合格率は全体の30%程度で、医療事務の資格試験の中では最高峰とも言われ難易度が高くなっています。受験した学生たちは、試験前には、「緊張しすぎてお腹が痛い」「緊張しないように、手のひらに『人』という字を書いて飲み込んだ」と話していましたが、試験後は、「やれるだけのことはやった」「全部の問題を解くことができた」と日頃の勉強の成果を発揮できた様子でした。

今回受験した学生たちは試験前日の土曜日にも学校で自習するなど、直前までよく頑張っていました。まずはお疲れ様と声を掛けたいと思います。（記者：赤嶺）



医療体験出張講座を開講

医療情報学科

臨床工学学科

高知県内の高等学校に、本校の教職員が出向き医療職の体験講座を開講しました。

当日は、穿刺・電気メス・人工透析・心電図モニター・エコー・医療費の計算など、様々な医療の体験ブースを設けました。

高校生の皆さんは、最初は見慣れない医療機器に戸惑った様子でしたが、使い方を聞き実際に体験してみると、少しずつ慣れて積極的に取り組んでいました。

医療体験出張講座は、2023年も高知県内外の高等学校で開催していく予定です。

【11月、12月に医療体験出張講座を開催した高等学校】
高知西・高知国際高等学校／ヒューマンキャンパス高等学校／高知高等学院
（記者：野村）

12/17

医療情報学科

臨床工学学科

オープンキャンパス・入学前サポート学習を実施

12月17日に、第11回オープンキャンパスと第3回入学前サポート学習を開催しました。

今回のオープンキャンパスではクリスマスイベントとして、高知福祉専門学校と合同でスペシャル★コラボスタンプラリーを実施しました。医療情報学科ではスノードーム作り、臨床工学学科ではイントロクイズや謎解き問題、キックボールゲームを行いました。参加した高校生からは、「クリスマスらしいことができてよかった」「新しい友だちと楽しく回ることができた」「（スノードームが）かわいくできた。家に飾ります」といった嬉しい声が聞かれました。少し早めのクリスマス、お楽しみいただけましたでしょうか？また、本イベントは、在校生が中心となって準備や飾り付け、当日の高校生のサポートまで頑張ってくれました。

3回目となる入学前サポート学習では、『電卓を使ってみよう』（医療情報学科）、『臨床工学技士を目指す上で必要な物理とは？（臨床工学学科）』をテーマに、各学科に分かれて実施されました。学習に参加した高校生は、「物理に対する不安がかなり解消された」「入学後どんな分野が必要なのか分からなかったのですごく助かりました」と話していました。

当日はあいにくの雨でしたが、ご参加、ご協力いただいた皆様ありがとうございました。（記者：赤嶺、野村）



編集後記

矢野さんに取材している際に、スマートフォンのある画面を見せてくれました。

それは彼が国家試験対策として治療機器の要点を記録した自作の「要点リスト」でした。友人が一つ一つノートに書いて覚えるのを見て自分も何かしなければと思い作成したとのこと。

そうしたライバルと共に真剣に勉強に取り組む矢野さんの姿を見て、とても頼もしく、誇らしく感じた取材でした。

